

# 廃プラ対応焼却炉の新モデル発売

## DAITO 水冷式で長時間安定燃焼

小型焼却炉の製造・販売を手掛けるDAITO(愛知県瀬戸市、井上滋樹社長、☎0561・21・3111)はこのほど、水冷式の廃プラ対応焼却炉「IPZIIモデル」を発売した。このモデルは、既存のIPZモデルをベースに送風機を1台追加するなどして

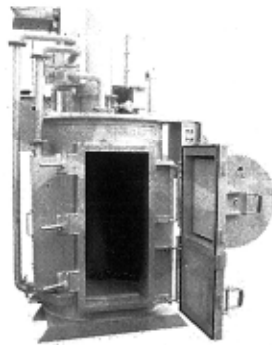
各種機能を向上させたもの。初年度は20台の販売を目指す。新モデルは、送風機を追加したことで炉内エアを効率的に送ることが可能になり、燃焼効率向上。水冷式と自動温度制御機能により長時間の安定燃焼も実現した。また、バーナーと新たに設計したWカット集じん室により、消煙と集じん能力も向上したという。

さらに、新型投入扉を採用して本体との隙間から出る未燃ガスを大幅にカットできる。全面開放扉となっていることから、大きなごみも楽に投入でき、作業効率も高められる。また、構造は各種法規制に適合。「二部地域を除き、行政への届け出や許可の必要はなく、すぐに設置できる。万が一行政から指導があった場合は、当社が

責任を負う構造基準適合保証を付けている」とする。さらに、中小企業経営強化税制の適用も可能だ。「IPZII-400」価格は348万円(税抜き)となっている。1時間当たり20kg(一般雑芥の発熱量で算出)。外寸は高さ2530×幅1430×奥行2050mm、標準



廃プラ対応焼却炉「IPZIIモデル」



同モデルの全面開放扉